

紫波町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

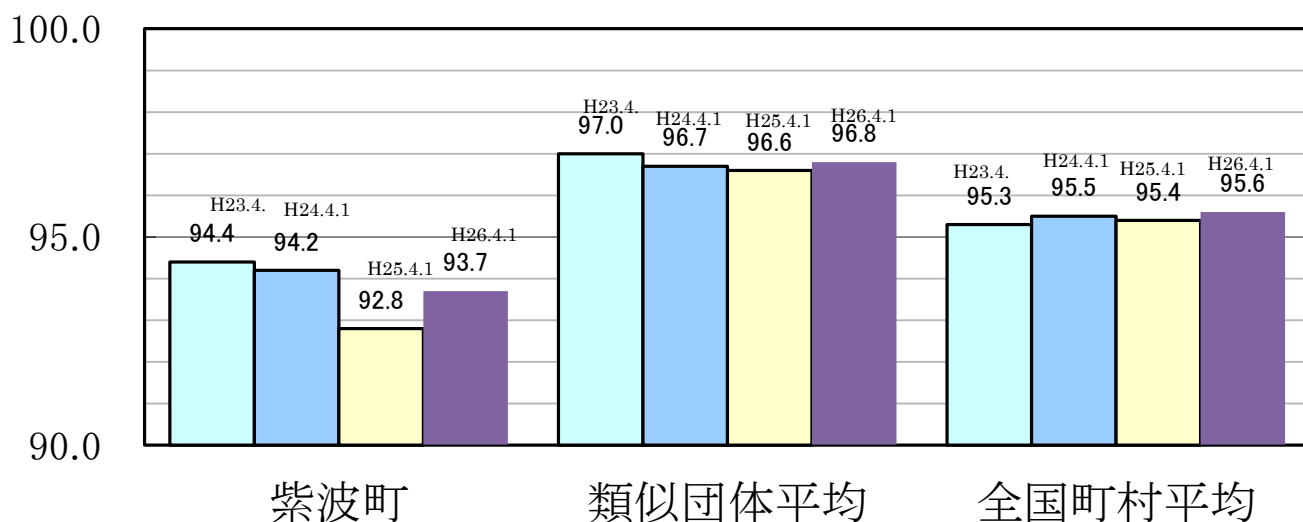
区分	住民基本台帳人口 (25年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 24年度の人件費率
25年度	人 34,084	千円 13,342,110	千円 325,588	千円 2,015,809	% 15.1	% 14.6

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当 たり給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
25年度	人 213	千円 760,898	千円 165,256	千円 269,094	千円 1,195,248	千円 5,611	千円 5,601

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、25年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 26年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べて1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

該当なし

(4) 給与改定の状況

① 月例給

区 分	人事委員会の勧告				給与 改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与A	公務員給与B	較差A-B	勧告(改定率)		
25年度	円	円	円	%	%	0.27%

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

② 特別給(期末・勤勉手当)

区 分	人事委員会の勧告				年間支 給月数	(参考)国の年間 支給月数
	民間の支給割合A	公務員の支給月数B	較差A-B	勧告(改定月数)		
25年度	月	月	月	月	月	4.10月

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給額である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日
 (内容) 一般職の職員の給料表について、国の例に準じ引下げ。
 平成30年3月31日までの経過措置として現給保障を実施。
 技労職員の給料表については、一般職の職員の給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

② 地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

地域手当の支給なし

③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について国と同様に見直しを実施(平成27年4月1日実施)

(6) 特記事項

なし

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況 (26年4月1日現在)

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額(国比較ベース)
紫波町	43.0歳	315,000円	366,542円	345,458円
岩手県	43.9歳	332,949円	397,778円	361,678円
国	43.5歳	335,000円	—	408,472円
類似団体	42.3歳	316,054円	372,370円	347,095円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
紫波町	47.0歳	27人	316,800円	349,834円	338,790円	—	—	—	—
うち用務員	49.0歳	17人	329,600円	355,282円	354,247円	用務員	54.3歳	199,300円	1.78
うち自動車運転手	44.7歳	4人	310,900円	371,975円	333,425円	自家用兼用自動車運転手	54.9歳	177,600円	2.09
うち学校給食	45.3歳	3人	307,900円	351,134円	323,633円	調理師	43.7歳	201,700円	1.74
うちその他	41.0歳	3人	261,100円	288,233円	273,558円	—	—	—	—
岩手県	50.2歳	300人	324,410円	359,079円	344,407円	—	—	—	—
国	50.1歳	3,119人	287,992円	—	326,611円	—	—	—	—
類似団体	50.0歳	12人	291,276円	317,335円	307,380円	—	—	—	—

区分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
紫波町	—	—	—
うち用務員	5,643,884円	2,747,000円	2.05
うち自動車運転手	5,764,800円	2,355,300円	2.45
うち学校給食員	5,395,808円	2,742,600円	1.97

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成23年～25年の3カ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③福祉職（保育士・児童厚生員・社会福祉士）

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
紫波町	36.1歳	265,000円	284,215円	277,982円
岩手県	—歳	—円	—円	—円
国	41.8歳	331,688円	—	377,975円
類似団体	40.2歳	287,451円	314,047円	299,732円

④看護・保健職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
紫波町	36.6歳	266,300円	292,207円	277,710円
岩手県	—歳	—円	—円	—円
国	46.3歳	315,397円	—	345,048円
類似団体	40.3歳	291,407円	329,934円	304,683円

(注) 1 「平均給料月額」とは、26年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況(26年4月1日現在)

区 分		紫波町	岩手県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円	Ⅱ種 172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200円	137,200円	—
	中学卒	129,200円	129,200円	—
福祉職 (保育士・児童厚生員)	大学卒	166,900円	—	—
	短大卒	152,800円	—	—
看護・保健職	大学卒	166,900円	—	—
	短大卒	152,800円	—	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(26年4月1日現在)

区 分		経験年数10年以上	経験年数20年以上	経験年数25年以上	経験年数30年以上
		15年未満	25年未満	30年未満	35年未満
一般行政職	大学卒	262,438円	346,200円	373,278円	389,100円
	高校卒	(該当者無し)	316,450円	354,483円	371,500円
技能労務職	高校卒	(該当者無し)	300,175円	314,050円	(該当者無し)
	中学卒	(該当者無し)	275,000円	310,700円	336,586円
福祉職(保育士・児童 厚生員・社会福祉士)	大学卒	(該当者無し)	(該当者無し)	347,300円	(該当者無し)
	短大卒	258,025円	321,360円	338,100円	(該当者無し)
看護・保健職	大学卒	249,667円	(該当者無し)	(該当者無し)	379,500円
	短大卒	(該当者無し)	(該当者無し)	(該当者無し)	(該当者無し)

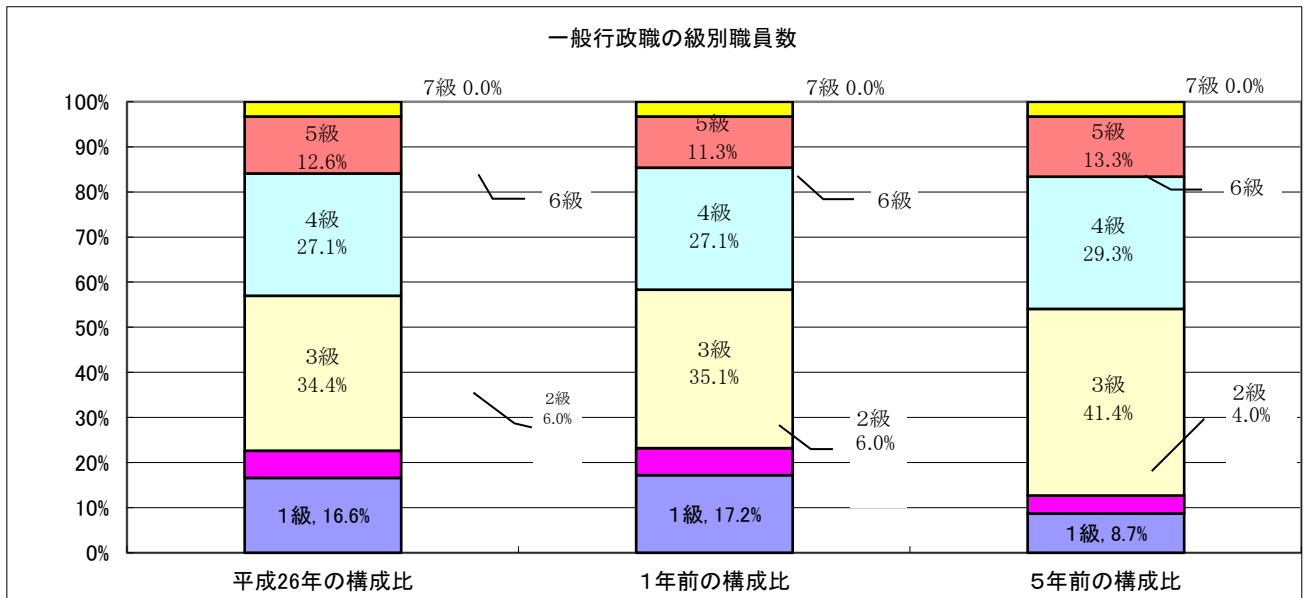
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（26年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
7級	高度の知識経験に基づき困難な業務を所掌する部長の職務	—	—	366,200円	456,200円
6級	部長の職務	5	3.3%	320,600円	422,600円
5級	課長又はこれに相当する職務	19	12.6%	289,200円	400,600円
4級	(1)室長又はこれに相当する職務 (2)困難な業務を処理する主査又はこれに相当する職務	41	27.1%	261,900円	388,300円
3級	(1)主査又はこれに相当する職務 (2)主任の職務	52	34.4%	222,900円	354,700円
2級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	9	6.0%	185,800円	307,800円
1級	定型的な業務を行う職務	25	16.6%	135,600円	243,700円

(注) 1 紫波町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

昇給前1年間に係る当該職員の勤務成績について、その者の職務について監督する地位にある者の証明に基づき、当該職員が次の①～⑤に掲げる区分のいずれかに該当するかに応じ、それぞれに定める号給数を昇給させることとしている。

- ① 勤務成績が極めて良好である職員 8号給以上
- ② 勤務成績が特に良好である職員 6号給
- ③ 勤務成績が良好である職員 4号給（職務の級が7級である者は3号給）
- ④ 勤務成績がやや良好でない職員 2号給
- ⑤ 勤務成績が良好でない職員 0号給

ただし、55歳を超える職員については、2号給までとしている。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

紫 波 町	岩 手 県	国
1人当たり平均支給額(25年度) 1,275千円	1人当たり平均支給額(25年度) 1,630千円	—
(25年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(25年度支給割合) 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.35月分 (1.40)月分 (0.65)月分	(25年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○ 勤勉手当への勤務実績の反映状況 (一般行政職)

当該職員の職務について監督する地位にある者による勤務実績の証明に基づき、当該職員が次の①～④に掲げる区分のいずれかに該当するかに応じ、それぞれに定める範囲内で、任命権者が、その反映させる率を定めています。

① 勤務成績が特に優秀な職員	100分の83.5以上100分の135以下
② 勤務成績が優秀な職員	100分の74以上100分の83.5未満
③ 勤務成績が良好な職員	100分の64.5
④ 勤務成績が良好でない職員	100分の64.5未満

(2) 退職手当 (26年4月1日現在)

紫 波 町			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	21.62月分	27.025月分	勤続20年	21.62月分	27.025月分
勤続25年	30.82月分	36.57月分	勤続25年	30.82月分	36.57月分
勤続35年	43.7月分	52.44月分	勤続35年	43.7月分	52.44月分
最高限度額	52.44月分	52.44月分	最高限度額	52.44月分	52.44月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置(割増率2%～45%)			定年前早期退職特例措置(割増率2%～45%)		
1人当たり平均支給額 16,405千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、25年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当 (26年4月1日現在)

支給実績(25年度決算)		—千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(25年度決算)		—円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
(支給該当地域無し)	0%	0人	0.0%
地域手当補正後ラスパイレス指数 (ラスパイレス指数)			

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)

(4) 特殊勤務手当（26年4月1日現在）

支給実績（25年度決算）	437 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	23,025 円			
職員全体に占める手当支給職員の割合（25年度）	8.1 %			
手当の種類（手当数）	8			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (25年度決算)	左記職員に対 する支給単価
特殊自動車運転手当	右記の業務に従事した職員	グレーダ、ロード・ローラ又はカタピラを有する自動車の運転に1日4時間以上従事	30千円	日額350円
税務手当	税務主管に所属する職員	町税の賦課及び徴収に関する事務に従事	323千円	主査以上 月額2,000円 その他職員 月額1,700円
感染症防疫等作業手当	感染症等の防疫に従事する職員	感染症等が発生し、又は発生するおそれがある場合において、感染症等の患者若しくは感染症等の疑いのある患者の救護若しくは感染症等の病原体に汚染された物件若しくは汚染の危険がある物件の処理作業に従事したとき、又は感染症等の病原体を有する家畜若しくは感染症等の病原体を有する疑いのある家畜に対する防疫作業に従事		日額700円
死体処理作業手当	右記の業務に従事した職員	行旅病人及行旅死亡人取扱法（明治32年法律第93号）第1条に規定する行旅死亡人の処理作業に従事		1体当たり 1,500円
道路上作業手当	自動車の運転業務を本務とする職員	交通を遮断することなく行う道路の維持修繕作業その他の作業で町長の定めるものに従事	84千円	月額3,500円
結核検診間接撮影介添手当	右記の業務に従事した職員	結核予防法（昭和26年法律第96号）第4条第3項の規定による健康診断のうち、エックス線検査の間接撮影の介添に従事		日額200円
用地等交渉手当	右記の業務に従事した職員	土地、家屋その他の物件の買収、移転若しくは補償又は土地境界査定のために、相手方に向いて直接交渉（国、地方公共団体その他町長が定める者との交渉を除く。）に従事		日額250円
特殊現場作業手当	紫波浄化センターに勤務する職員	勤務環境の劣悪な作業現場において、当該作業場の作業に従事		月額2,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（25年度決算）	89,078千円
支給対象職員1人当たり平均支給年額(25年度決算)	432千円
支給実績（24年度決算）	60,156千円
支給対象職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)	281千円

（注） 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（25年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（26年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (25年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (25年度決算)
扶 養 手 当	配偶者 月額13,000円 配偶者以外の扶養親族 月額6,500円 配偶者がいない場合の1人目 月額11,000円 *16～22歳の子 5,000円加算	同		千円 29,219	円 249,730
住 居 手 当	自ら居住するため住宅を借り受け、月額12,000円を超える家賃を支払っている職員で、 ・家賃23,000円以下 家賃額-12,000円 ・家賃23,000円超 (家賃額-23,000円)×1/2 +11,000円 月額上限27,000円	異	単身赴任手当を支給される職員で、配偶者等が居住するための住宅を借り受け月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対する住宅手当の支給	千円 12,429	円 276,197
通 勤 手 当	通勤のため交通機関を利用してその運賃を負担し、徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル以上である職員(鉄道・バス等利用) 月額上限45,000円 通勤のため自動車その他の交通の用具を使用することを常例とし、徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル以上である職員 月額上限28,400円	異	同左 月額上限55,000円 同左 月額上限24,500円	千円 9,586	円 55,734
管 理 職 手 当	給料月額に支給割合を乗じて支給 部 長 17/100～20/100 課 長 10/100～12/100 事務局長 8/100～10/100 主幹・保育所長・児童館長・給食センター所長 8/100			千円 15,547	円 518,248
休 日 勤 務 手 当	休日等における勤務1時間につき、勤務1時間当たりの給与額に100分の125から100分の150までの範囲内の割合を乗じて得た額を支給	異	勤務1時間当たりの支給額の算出方法に相違有り	千円 2,620	円 24,489
宿 日 直 手 当	宿直勤務又は日直勤務に従事した職員に支給 1回につき4,200円	同		千円 1,016	円 7,365
管理職特別勤務手当	休日等に4時間以上勤務した管理職手当支給対象となる職員に支給 日額4,000円			千円 220	円 12,222
寒 冷 地 手 当	毎年11月から翌年3月までの各月において、世帯等の区分に応じて支給 世帯主で扶養親族がいる職員 各月支給額17,800円 " 扶養親族がいない職員 各月支給額10,200円 その他の職員 各月支給額7,360円	同		千円 15,055	円 63,791
災 害 派 遣 手 当	滞在期間及び施設の利用区分に応じて支給 公用施設等 3,970円/日 その他の施設 30日以内 6,620円/日 30～60日以内 5,870円/日 60日超 5,140円/日			千円 1,876	円 1,876,100
児 童 手 当 (H24.4.1改正)	中学校第3学年までの子を監護養育している職員に支給 3歳未満 月額15,000円 3歳以上小学校修了・第2子まで 月額10,000円 3歳以上小学校修了・第3子以降 月額15,000円 中学生 月額10,000円	同		千円 17,010	円 246,522

5 特別職の報酬等の状況（26年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	780,000 円 () 円)	(参考) 類似団体における最高/最低額 904,000 円 / 383,500 円	
	副 町 長	610,000 円 () 円)	750,000 円 / 478,800 円	
報 酬	議 長	338,000 円 () 円)	486,500 円 / 227,000 円	
	副 議 長	275,000 円 () 円)	419,300 円 / 182,000 円	
	議 員	248,000 円 () 円)	390,000 円 / 157,000 円	
期 末 手 当	町 長	(25年度支給割合)		(加算措置の状況)
	副 町 長	2.95 月分		15 %
退 職 手 当	議 長	(25年度支給割合)		(加算措置の状況)
	副 議 長 員	2.95 月分		15 %
退 職 手 当	町 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 町 長	給料月額×在職月数×40.38/100	15,118.3千円	任期毎
	備 考	給料月額×在職月数×23.28/100	6,816.4千円	任期毎

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

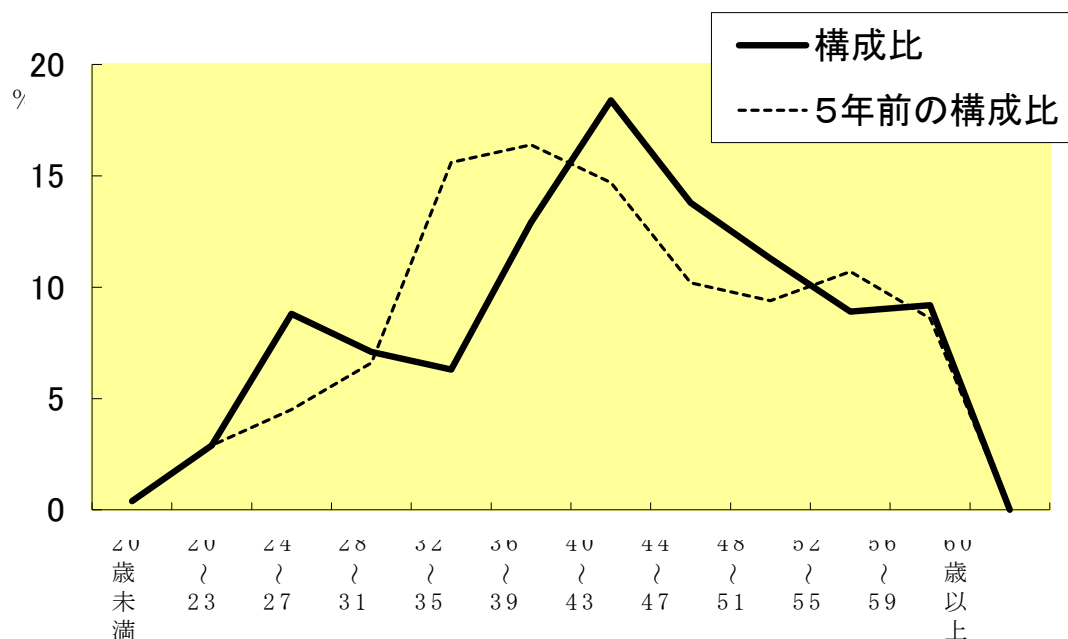
部 門	区 分		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
	一	二	平成25年	平成26年		
普 通 会 計 部 門	議 会	2	2			欠員不補充による減員 欠員不補充による減員 欠員不補充による減員
	総 務	51	49	△ 2		
	税 務	14	13	△ 1		
	民 生	56	55	△ 1		
	衛 生	15	15			
	労 働	—	—			
	政 農 林 水 産	17	17			
	商 工	5	5			
	土 木	18	18			
	計	178	174	△ 4	<参考> 人口1万人当たり職員数 51.23 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 51.20 人)	
部 門	教育部門	36	38	2	国体推進課設置による増員	
	消防部門	—	—			
	小 計	214	212	△ 2	<参考> 人口1万人当たり職員数 62.42 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 67.04 人)	
公 営 会 企 計 業 部 等 門	水 道	8	5	△ 3	水道事業を岩手中部水道企業団移管したことによる減員	
	下 水 道	9	9			
	国 保	4	4			
	介 護	7	7			
	そ の 他	3	3			
小 計	31	28	△ 3			
合 計		245	240	△ 5	<参考> 人口1万人当たり職員数 70.67 人	
		[305]	[305]	[—]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員(教育長を含む)数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（26年4月1日現在）

(注) 職員数は一般職に属する職員(教育長を除く)数である。



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
平成26年	1人	7人	21人	17人	15人	31人	44人	33人	27人	21人	22人	1人	239人
平成21年	1人	7人	11人	16人	38人	40人	36人	25人	23人	26人	21人	1人	244人

(3) 職員数の推移

(単位：人、%)

部門別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	173	175	176	176	178	174	1(0.6)
教育	36	35	35	35	35	37	1(2.8)
消防	—	—	—	—	—	—	—
普通会計計	209	210	211	211	213	211	2(1.0)
公営企業等会計	35	33	32	33	31	28	△7(△20.0)
総合計	244	243	243	244	244	239	△5(△2.0)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数(教育長除く)。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 上水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益 又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 24年度の総費用に占 める職員給与費比率
25年度	千円 712,767	千円 △90,831	千円 28,667	% 4.0	% 4.9

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費 23,118 千円を含まない。

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 全国市町村平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
25年度	人 9	千円 34,831	千円 5,037	千円 11,917	千円 51,785	千円 5,754	千円 6,123

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、26年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

なし

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（26年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
紫波町	48.3 歳	377,400 円	512,533 円
団体平均	45.0 歳	342,822 円	509,358 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

紫波町	紫波町（一般行政職）
1人当たり平均支給額(25年度) 1,490 千円	1人当たり平均支給額(25年度) 1,348 千円
(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45) 月分 (0.65) 月分	(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45) 月分 (0.65) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（26年4月1日現在）

紫 波 町				紫 波 町（一般行政職）			
（支給率）	自己都合	応募認定	・定年	（支給率）	自己都合	応募認定	・定年
勤続 20 年	21.62 月分	27.025	月分	勤続 20 年	21.62 月分	27.025	月分
勤続 25 年	30.82 月分	36.57	月分	勤続 25 年	30.82 月分	36.57	月分
勤続 35 年	43.7 月分	52.44	月分	勤続 35 年	43.7 月分	52.44	月分
最高限度額	52.44 月分	52.44	月分	最高限度額	52.44 月分	52.44	月分
その他の加算措置				その他の加算措置			
定年前早期退職特例措置(割増率2%～45%)				定年前早期退職特例措置(割増率2%～45%)			
1人当たり平均支給額 23,878 千円				1人当たり平均支給額 16,860 千円			

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、25年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（26年4月1日現在）

支給実績（25年度決算）			— 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（24年度決算）			— 円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度（支給率）
（支給該当地域無し）	0 %	0 人	0 %

エ 特殊勤務手当（26年4月1日現在）

支給実績（25年度決算）		0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）		— 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（25年度）		— %		
手当の種類（手当数）		3		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （25年度決算）	左記職員に対 する支給単価
特殊作業手当	右記の作業に従事した職員	揚水場又は配水場において、液化塩素ガス容器の取替及び塩素滅菌装置の修理作業に従事	— 千円	作業1回につき500円
冬季作業手当	右記の作業に従事した職員	12月1日から翌年3月31日までの期間中において、配水施設等の修繕のため現場作業に従事	— 千円	午後6時から午前0時までの間に従事した場合 500円 午前0時から午前5時までの間に従事した場合 1,000円
滞納整理手当	右記の作業に従事した職員	給水の停止処分の作業に従事	— 千円	1件につき 200円

オ 時間外勤務手当

支給実績（25年度決算）	1,964 千円
支給対象職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	327 千円
支給実績（24年度決算）	1,179 千円
支給対象職員1人当たり平均支給年額（24年度決算）	168 千円

（注）1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（25年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（26年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職 の制度との 異同	一般行政職 の制度と異 なる内容	支 給 実 績 (25年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (25年度決算)
扶 養 手 当	配偶者 月額13,000円 配偶者以外の扶養親族 月額6,500円 配偶者がいない場合の1人目 月額11,000円 *16～22歳の子 5,000円加算	同	—	千円 2,190	円 312,857
住 居 手 当	自ら居住するため住宅を借り受け、月額12,000円を超える家賃を支払っている職員で、 ・家賃23,000円以下 家賃額-12,000円 ・家賃23,000円超 (家賃額-23,000円)×1/2 +11,000円 月額上限27,000円	同	—	千円 0	円 0
通 勤 手 当	通勤のため交通機関を利用してその運賃を負担し、徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル以上である職員(鉄道・バス等利用) 月額上限45,000円 通勤のため自動車その他の交通の用具を使用することを常例とし、徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル以上である職員 月額上限28,400円	同	—	千円 427	円 85,440
管 理 職 手 当	給料月額に支給割合を乗じて支給 所 長 10/100	同	—	481 千円	480,720 円
宿 日 直 手 当	宿直勤務又は日直勤務に従事した職員に支給 1回につき4,200円	同	—	— 千円	— 円
管理職特別勤務手当	休日等に4時間以上勤務した管理職手当支給対象となる職員に支給 日額4,000円	同	—	千円 12	円 12,000
寒 冷 地 手 当	毎年11月から翌年3月までの各月において、世帯等の区分に応じて支給 世帯主で扶養親族がいる職員 各月支給額17,800円 〃 扶養親族がいない職員 各月支給額10,200円 その他の職員 各月支給額 7,360円	同	—	千円 674	円 84,250
児 童 手 当	中学校第3学年までの子を監護養育している職員に支給 3歳未満 月額15,000円 3歳以上小学校修了・第2子まで 月額10,000円 3歳以上小学校修了・第3子以降 月額15,000円 中学生 月額10,000円	同	—	千円 —	円 —